



新型コロナ対策 中小企業支援を

大阪府議会
 2月定例会報告

みやけ府議 商工労働常任委員会で質問

三宅府議は、3月10日、所属の商工労働常任委員会において関係理事者に対し所管の政策課題について質問をしました。その概要は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染症対策

Q 深刻な影響を受けている中小企業の資金繰りを支援するうえで、既存融資についても、柔軟な対応をお願いしたい。

A 府においては2月20日付けで、制度融資を取り扱う56の金融機関に対し、元金返済を含む貸付条件の変更など、きめ細かな対応を要請した。今後も必要に応じて、金融機関への再度の要請や国への要望を検討したい。

Q 新型コロナ対策としてテレワークを新規で導入する中小企業主に対し、上限100万円までの国の助成金が活用できることになったが、大阪府の積極的な支援、後押しが必要不可欠と考えるがどうか。

A これまでテレワーク普及のためにセミナーの開催や府制度融資を通じて支援してきた。今後、国の助成金事業の活用とともに、テレワークの導入が進み、感染症の影響を最小限に食い止められるよう国や経済団体等と連携を強化したい。



“がん教育”井高野中学校、大桐中学校で実施

昨年に引き続き井高野中学校で、2月12日、関西医科大学総合医療センター血液腫瘍内科部長石井一慶氏を担当講師に1年生95名を対象に「がん教育」が実施されました。

また、大桐中学校では、昨年11月8日、大阪赤十字病院の医師・看護師にご担当いただき、2年生151名を対象に2回目となる「がん教育」が実施されました。

この「がん教育」は、がんの専門医などの外部講師による授業で、三宅府議の提案により5年前から開始されたものであり、これまで府域で79校の中学校で実施されました。昨年3月の三宅府議の大阪府議会での一般質問に対し、酒井教育長より2025年の大阪・関西万博までに全ての中学校、高校において実施を目指すとの答弁がありました。

▼大阪府議会ホームページ



詳しくは、大阪府議会「議会インターネット中継」から動画を配信しています。



中小企業のサイバーセキュリティ対策

Q 新型コロナウイルスの感染拡大に便乗したサイバー攻撃の動きがあり、中小企業が不正アクセスの入り口として狙われることが懸念されている。セキュリティ対策を支援する取り組みが必要と考えるがどうか。

A 大阪産業局の「大阪府よろず支援拠点」では、専門家による相談を実施している。大阪商工会議所が本年4月から「サイバーセキュリティお助け隊」事業を中小企業向けサービス事業として実施することから、その周知、活用促進を図る。

就職氷河期世代支援と高等技術専門校

Q 就職氷河期世代の方々に職業訓練を通じて安定した就職へと結びつけることが有効と考えるが、どのような取り組みを行っているのか。

A 令和2年度入校生から12科目のうち6科目について上限年齢を撤廃した。民間教育訓練機関等を活用した委託訓練では、資格を取得して正規雇用を目指す訓練について、令和2年度の受講資格の上限年齢を45歳から55歳に引き上げた。



▲大桐中学校でがん教育(令和元年11月8日)



▲右から石井先生、池尻校長、三宅府議(井高野中学校・2月12日)

大阪府議会議員

三宅 史明
みやけ 史明

●プロフィール
 公明党大阪府本部幹事会会長
 〳 東淀川支部長
 大阪府議会商工労働常任委員

・昭和29年9月大阪市生まれ
 ・上宮高校、創価大学法学部卒業
 ・東京都世田谷区役所、大阪府庁勤務を経て、平成7年大阪府議会議員選挙初当選、現7期
 ・区内北江口2丁目在住

●みやけ史明 府政相談事務所

お役に立ちます。お気軽にご相談を。

〒533-0013
 大阪市東淀川区豊里6-29-7 久ービル7F
 TEL 06-6370-1135
 FAX 06-6370-2257
 (平日:9:00~17:00)

